ヒューマンバイオロジー学位プログラムのアドミッション・ポリシー

平成２４年６月２５日
ヒューマンバイオロジー学位プログラム
運営委員会決定

１　趣旨

ヒューマンバイオロジー学位プログラム（以下「学位プログラム」という。）は、人の健康に関わる地球規模の脅威を制御するためにはヒトを対象とした疾患の予防及び治療を目指す医学だけでは不十分であるとの認識に立ち、生物学、計算科学及び物質科学（ケミカルバイオロジー、化学及び薬学を含む）をはじめとする多分野の協業を行い教育を推進することにより、ヒトの生命の維持、適応及び継承のメカニズムを理解して、ヒトの健康に関する地球規模課題の解決に貢献できる専門力を修得し、ヒトが人らしく生きる社会の創造を先導できる国際的トップリーダーの資質を持った人材を育成することを目的とする。

この目的を実現するために、学位プログラムでは教育目標を設定するとともに、求める学生像を明確にし入学者選抜の基本方針を明示することによって、受験生及び社会に対する説明責任を果たすこととする。

２　教育目標

学位プログラムは、ヒトの生物学に関する概念を理解し、DNA を中心としたこれまでのドグマでは読取れない生命素子（epi-genetic biomolecules）の科学及び技術の専門力を修得すると同時に、その専門力を社会の現場で地球規模課題の解決に向けて発揮するための目利き力、突破力及び完結力を涵養することを目標とする。

３　求める学生像

本学位プログラムは、ヒトの生命の維持、適応及び継承のメカニズムを理解する能力を有し、広く産官学にわたりグローバルに活躍できるリーダーとなる資質を持った人材を求める。

４　入学者選抜の基本方針

学位プログラムは、ヒトの生物学に関する概念を理解し、DNA を中心としたこれまでのドグマでは読取れない生命素子（epi-genetic biomolecules）の科学及び技術を研究する課程である。

入学者選抜において、こうした学位プログラムの特性を生かし、多様性、総合性及び国際性を基調とした入学要件、選抜方式又は選抜基準を設定する。

具体的には、GRE (Graduate Record Examination)の General Test、GPA(Grade Point Average)等を導入して広く海外から優秀な留学生を積極的に受入れ、本学の同一分野出身以外の入学者の割合を７割程度に設定し、１月期及び８月期の入試において小論文（1, 000 語以内)、推薦書、成績証明書、GRE 及び TOEIC に基づき書類審査を行い、その合格者に対して筆記試験、個別面接及びグループセッションテストを実施する。

５　入学者選抜の実施体制

学位プログラムにおける入学者選抜の実施体制は、グローバル教育院長を統括本部長とし、円滑・適正な実施のため入試委員会を組織し、出題・採点、面接等の委員及びグローバル教育院事務室の協力の下入学試験を実施し合格候補者判定資料を作成する。

また、学位プログラム教育会議において合格候補者判定資料に基づき合格候補者を決定し、グローバル教育院長を通じて学長に報告する。

６　入試ミスの防止

学位プログラムは、公正な入学者選抜を実施するため、入試ミス防止マニュアルを策定するとともに入念なチェック体制及び点検作業を行うものとする。